

☆地域包括ケアふじえだプロジェクト☆

平成31年4月10日 VOL. 99

「食べる」を支える口腔ケアの技術向上を目指して

平成31年3月28日（木）保健センターを会場に、藤枝歯科医師会（会長：青島孝之氏）と地域包括ケア推進課と共催で歯科衛生士を対象とした研修会を開催しました。



市の取組紹介

この研修には、地域の歯科医院や介護施設に勤務している歯科衛生士及び在宅の歯科衛生士22人と藤枝歯科医師会の歯科医師6人が出席し、**住み慣れた地域で自分らしい生活を送るため、人生の最期まで自分の口から「食べる」ことを支える**藤枝市の口腔ケア事業について理解を深めました。

市からは、高齢者を取りまく本市の状況と訪問歯科指導事業や小規模多機能事業所などでの出張講座による口腔ケア技術向上事業などの紹介をしました。

スマート・デンタル・オフィス大橋克巳歯科医師からは、訪問歯科診療の実際について説明をいただきました。先生の病院勤務での経験から現在の訪問診療の様子や歯科衛生士に期待する処置内容とケアマネジャーなど介護事業所との連携の実際について、分かりやすくお話しをいただきました。また、実際の往診で使う治療機器も持参いただき、参加した歯科医師からも多くの質問ができました。



歯科医師の立場から

神谷知子歯科衛生士からは、市の訪問歯科指導について事例を通して、実施した家族や支援者への対応や助言の実際についてお話ししました。

また、参加者の皆さんには、歯科衛生士に求められる専門性が広く深くなっていること、口腔ケアについては、多職種連携が重要であること等、実践から得た思いのこもったメッセージとして送りました。



歯科衛生士の立場から



これからも口腔ケアの向上に取り組みます

グループワークでは、「**病院内でのケアを退院後の家庭に繋げるにはどうしたらよいか**」「**歯科衛生士の在宅での勉強の場や実践の場が不足している**」「**介護の場面での口腔ケアに対する意識を高めることが必要**」など活発な意見が出されました。

アンケートからも「**在宅や現場での口腔ケアに携わる職種で抱える思いや現状は、同様の問題が上げられているのだと改めて感じました**」「**多職種によるチーム医療や医療と介護の一体化について意識が変わった**」などの感想がありました。

これからも、多職種による口腔ケアマニュアル検討委員会で市の口腔ケア事業の検討や口腔ケアにおける病院退院カンファでの情報共有、介護従事者に対する口腔ケア技術向上事業を実施し、口腔ケアに対する切れ目ない支援の実現をめざしていきます。

